

第 45 回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事録

●平成 29 年 3 月 7 日(火) 18:30～20:30、上尾市プラザ 22

【議事結果】

- ① 平成 29 年度のモニタリング計画案を了承する。
- ② 全体構想、実施計画書の見直しについては、前回協議会意見を踏まえた維持管理・環境管理専門委員会の変更提案を了承する。
- ③ 寄付金等管理事務局については、前回協議会で委員より推薦のあった埼玉県生態系保護協会にて「受諾」の回答があり、寄付金等管理事務局設置について推薦の内容で了承する。
- ④ 下池の掘削は、予算の範囲内で効果的な整備を行うために、コンクリートガラ等のゴミが埋まってない他の場所を掘削することを検討する。試掘によって確認されたゴミの情報は、将来的にわかるようにしておくこと。
- ⑤ 看板と通路の配置(案)を了承する。
- ⑥ 維持管理計画(案)を了承する。
- ⑦ エコロジカルネットワークについては、当面の間、維持管理・環境管理専門委員会で検討していくことを了承する
- ⑧ 平成 29 年度のイベント案および活動予算案を了承する。
- ⑨ Facebook の発信方法は引き続き検討課題とする。

【主な議事内容】

◎協議事項

- 第 44 回荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事録
(質疑応答無し)

●生態系モニタリング専門委員会の活動

- ・ 平成 29 年度のモニタリング計画案を了承する。

●維持管理・環境管理専門委員会の活動

<マーケット・リサーチについて>

- ・ 提案どおり、リサーチ対象の企業に声をかけていく。また、新たな候補について委員より情報提供していただく。

<オブザーバー視察について>

- ・ 本省河川環境課のミズベリング担当によるオブザーバー視察は、ミズベリングと自然再生では、性格が異なるため実現しなかった。引き続きリサーチ候補を検討する。

<2 月の維持管理イベントについて>

(質疑応答無し)

<全体構想、実施計画書の見直しについて>

- ・ 前回協議会意見を踏まえた維持管理・環境管理専門委員会の全体構想、実施計画書の見直し

案を了承する。今後、改定に向けて関係機関との調整を行っていく。

＜今年度工事箇所状況と今後の対応について＞

- ・ 掘り出したコンクリートガラは処分するのではなく、河床低下している場所へ設置するなど有効活用を考えて欲しい。太郎右衛門地区であれば中池からの流出水路の落差があるところと考えられる。また、整備地の法面に置けばヘビ類などが利用できる場になるのではないかと。外部に搬出するエネルギーがもったいない。
 - 河床低下対策は、掘り出したコンクリートガラの利用ではなく、適切な材料を用いるべきである。
 - コンクリートガラを法面においた状態では、印象が悪く利用者が来てくれない。
 - 掘り出したコンクリートガラは処分すべきだと考えている。
- ・ 掘り出していないコンクリートガラ等のゴミについても掘り出して処分すべきではないか。
 - 埋まった状態でも有害物質の溶出がないことが確認できているため、お金をかけて掘り出して処分するのではなく、埋まったままでも良いと考えられる。
 - 予算には限りがあり、効果的に整備を行うためにも、今の掘削予定地にこだわる必要はない。試掘によりゴミがあることが確認された場合は掘削場所の変更も含めて再検討する。
 - 荒川の河川敷ではゴミを埋められた場所が多く、他の適地はあまり無いかもしれない。
 - 予算に限りがある中で、効果的な整備のためにもゴミの無い場所を掘削することを検討する。試掘によって確認されたゴミの情報についてはわかるように整理しておく。

＜看板・管理用通路について＞

- ・ 看板と通路の配置(案)を了承する。
- ・ 看板の解説には英語を入れ、生物の表記には学名を併記する。

＜維持管理計画について＞

- ・ 当面だけではなく、将来のことも考える必要がある。通路・看板を整備すればその管理も必要になる。
 - 提案内容は、まずは当面やらなければならないものを計画しているものである。
- ・ 将来の維持管理計画は、組織体制と一緒に検討していく予定である。
- ・ 維持管理計画(案)を了承する。

＜維持管理・環境管理専門委員会の予定について＞

- ・ 当面、エコロジカルネットワークについては維持管理・環境管理専門委員会で検討していくことを了承する。
 - ・ エコロジカルネットワークについては全国フォーラムなどが開催されており、素晴らしい取り組みと思われる。江戸川や利根川で先行しているが、荒川での取り組みはどのような予定か。検討に市民団体も加わりたい。
- 荒川でも自治体と一緒に進めて行く予定である。鴻巣市で進めている取り組みについて、太郎右衛門地区自然再生協議会に情報提供していきたい。

●広報WGの活動

- ・ 平成 29 年度のイベント計画案および予算案を了承する。
- ・ Facebook については担当者としてぜひ立候補して欲しい。

→ 経験上、担当者を固定すると発信が滞る。アカウントを共有し、その時々イベントに参加した方が、ホットな情報を発信する仕組みにするのが良い。

→ **Facebook** 担当者や発信方法については引き続き検討課題とする。

●その他

- ・ 寄付金等管理事務局については、前回協議会で委員より推薦のあった埼玉県生態系保護協会にて「受諾」の回答があったので、これを了承する。

なお、次の寄付金等管理事務局が決まるまでの当面の間の「受諾」との回答である。

- ・ 平成 29 年度のスケジュールについて、全体構想・実施計画書の改訂において必要があれば開催回数が増える可能性がある。
- ・ 「風景」を考えた整備を進めて欲しい。
- ・ 維持管理が必要とならないように水面を確保してほしい。

以上